

公益社団法人愛知県医師会 第22回(定例)理事会議事録

開催日時：平成27年10月22日(木) 午後2時35分～午後3時55分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤宣夫 横井 隆

理事／市川朝洋 吉田 貴 城 義政 加藤雅通 大輪芳裕

西山 朗 檜尾富二 樋口俊寛 伊藤富士子 瀨瀨雅明

細川秀一 森 孝生 城 卓志 野田正治

監事／岩瀬敬紀 可世木成明 榊原一基

代議員会副議長／川上雅正 杉田洋一

欠席者

理事／伊藤 健一

代議員会議長／水野和夫

議事録作成者 加藤結花

※日本医師会山本續子理事は午後3時来館のため、報告事項1は、報告事項6の後に
行った。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者23名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

—承認事項—

1. 庶務関係事項について (市川理事)(檜尾理事)

(1) 後援並びに共催について

①公益社団法人認知症の人と家族の会(愛知県支部代表 尾之内直美)主催の「認知症の人と家族の会 愛知県支部「35周年記念講演会」[H28.2/21(日)]の後援について
市川理事より説明され、承認された。

(2) 年末年始の日程について

市川理事より説明され、県下医師会長等協議会は、年末12月は休会とし、来年1月

は、秋の叙勲受章会員の慶祝表彰と併せて開催する。

定例理事会については、年内は12月24日(木)開催までとし、年始は、1月14日(木)開催し、終了後に言寿会を兼ね新年会を開催する。また、事務局は12月25日(金)仕事納め、新年は1月4日(月)より通常業務とすると説明され、承認された。

(3) 人事委員会 [10/29(木)] 開催について

市川理事より説明され、10月29日(木)、理事会終了後の開催が承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下のNo. 1~4の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	11/4(水)	精度管理(小)委員会	801 会議室	檜尾理事 加藤理事
2	11/16(月)	第7回愛知県医師会地域医療政策研究機構	801・802 会議室	大輪理事 伊藤(健)理事
3	12/2(水)	女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会	地下講堂	伊藤(富)理事 西山理事
4	12/16(水)	愛知県看護協会との懇談会	5階医師連盟会議室	大輪理事 伊藤(健)理事

—協議事項—

3. 「国民医療を守るための総決起大会」 [12/9(水)] への出席について

柵木会長より、日本医師会から10名の参加依頼があり、ご自身と山本副会長、市川理事は出席するので、役員より出席希望があれば申し出ていただきたいと説明され、承認された。

4. 会費の減免申請について

(西山理事)(市川理事)

西山理事より説明され、名古屋市医師会より、申請があった入会費減免申請が承認された。

5. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 日本医師会理事会報告〔10/20(火)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

日本医師会山本續子理事より、1.「インフルエンザワクチンの購入価格について」
2.「インフルエンザワクチンHAワクチン“化血研”の「出荷停止に伴う対応について」
3.「保健医療 2035 推進本部の提言に沿った「保健医療 2035 実行プラン」の第一に挙げられている「総合的な診療を行うかかりつけ医の普及・確率」について
4「医療事故調査制度に伴う関係機関との協力体制について」の10月20日開催の理事打合せについて報告された。

2. 第37回産業保健活動推進全国会議〔10/15(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

西山理事より、都道府県2ヶ所の活動事例報告につき、愛知県との違いについて説明された。大阪府の取組としては、支援センター運営協議会が毎月開催(愛知は年2回)されている。大宮地域産業保健センターについては、コーディネーターと登録産業医との頻回なる連絡があると説明された。説明・報告については、(1)最近の労働衛生行政の動向について、(2)産業医活動に対する集計結果について、(3)地域産業保健センター事業に関するアンケート調査結果について説明され、(1)については、今後の産業医の方向性について注意していく必要があり、(3)については、相談数を増やすには労働基準監督署よりの口添えが一番効果的であると説明された。

3. 平成27年度「2020.30」推進懇話会〔10/18(日)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

伊藤(富)理事より、6つのテーマについて12～17名ずつに分かれてグループディスカッションが行われたと説明された。意見交換では、各グループの討論の簡略な総括をグループ担当の司会が発表し、内容については、出席者の地区の事情などの情報交換から問題の掘り起こし、今後の方策の模索などであり、何らかの結論を出すものではなかったと説明された。

【本会関係会議について】

4. 学校保健部会学校健診委員会〔10/13(火)〕について

(6階研修室)

吉田理事より、協議事項では、心電図精度管理調査結果を健診機関と教育委員会にフィードバックすることが了承され、県下医師会学校保健担当理事連絡協議会(11月30日(月))及び学校保健健診懇談会(平成28年1月11日(月・祝))並びに精度管理説明会(来年3月予定)を開催することが了承されたと説明された。

また、平成 28 年 3 月 6 日(日)開催の学校保健シンポジウムのシンポジストについて検討し、報告事項では、関係会議等について出席者より報告を行ったと説明された。

5. 広報委員会〔10/14(水)〕について

(501 会議室)

吉田理事より愛知医報の反省、栄かいわい執筆状況及び校正班分担の確認、11/15号以降のトップ原稿の状況について説明され、12/1、12/15、1/15、2/1、2/15号表紙作品について協議し、候補作品を決定した。栄かいわいについては、曖昧な存在であるので、責任の所在をハッキリさせるため、編集後記等に変更することが検討課題となった。広告審査については、3件中2件の掲載を了承したが、実態のない学習塾からの依頼については、掲載不可としたと説明された。また、会員からの投稿規程に関する意見について協議したと報告された。

6. 医師会史編集委員会〔10/14(水)〕について

(501 会議室)

吉田理事より、野村委員を委員長に、浅井委員を副委員長に選出したと報告され、前回の記念誌を確認しながら、70周年記念誌の構成内容、スケジュールに等について協議したと説明された。内容については、年表、年度ごとの流れについては医師会史編集委員会が執筆する。医師会事業の各々については、現在の担当理事に執筆を依頼された。来月の委員会までに目次構成を作成する予定であり、出来上がった時点で話題提供として理事会に提出するのでご意見をいただきたいと依頼された。

7. 愛知県医師会会員相談窓口第3回事例検討会〔10/19(月)〕について

(801 会議室)

加藤理事より、案件 69 件(うち診療報酬に関する相談 23 件)について協議したと説明された。また、会員相談窓口事例検索システム構築について検討を行ったと報告された。

8. 保険医協会との懇談会〔10/13(火)〕について

(5 階医師連盟会議室)

大輪理事より、保険医協会より、医療・社会保障等をめぐる動向、診療報酬、審査・指導問題、地方自治問題をめぐる動向、税問題について各担当理事より報告があったと説明された。本会より、日医連医政活動研究会、自民党政策懇談会について、また支払基金・国保連合会の審査差異、次期診療報酬改定要望書、個別指導への会計検査院の指摘、審査結果に関する保険者からの問い合わせに関して資料の解説及び意見交換を行ったと説明された。

9. 臨時監事会〔10/19(月)〕について

(501 会議室)

西山理事より、岩瀬監事、可世木監事、榊原監事による臨時の監査を受け、適正に処理されているとの評価がなされたと報告された。

10. 県下医師会予防接種事業担当理事連絡協議会(B 類疾病定期予防接種広域化に関する説明会)〔10/19(月)〕について

(9 階大講堂)

瀨瀨理事より、伊藤副会長の挨拶の後、ご自身より、B 類疾病定期予防接種の広域化の実施について、平成 28 年度の愛知県広域予防接種事業接種協力医師・医療機関の募集についてスライドを利用して説明を行い、その後質疑応答を行い、参加者は 49 名であったと報告された。

山本副会長より、肺炎球菌ワクチン接種の重複接種の可能性について質問され、瀨瀨理事より、接種する際、市町村が発行する連絡票を提出することになっているため、問題は生じないと発言された。

11. 地域医療再生に関する多職種連携協議会〔10/19(月)〕について

(5 階医師連盟会議室)

(樋口理事)(野田理事)

樋口理事より、模擬事例検討とイエローカード(オヤッ?と Card)・システムの組合せ方、模擬事例検討にあたっての概略(再確認)について、宮治委員長からの資料説明および意見交換がなされたと説明された。また、同システムを幅広く普及させる手段として ICT ツールや各職能団体 HP の活用の必要性を示された。

12. 講演会・研修会等について

柵木会長より、下記の No. 1~3 の本会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	10/10(土)	医療従事者の認知症対応力向上研修	100 名	野田理事 樋口理事
2	10/13(火)	産業医研修会	25 名	西山理事 市川理事
3	10/17(土)	平成 27 年度感染症及び結核講演会	173 名	瀨瀨理事 吉田理事

【行政、その他関係団体等会議について】

13. 東海北陸地方社会保険医療協議会総会〔10/13(火)〕について

(東海北陸厚生局主催：ホテルサンルートプラザ名古屋)

伊藤副会長より、総会にかけるような案件はなかったと報告された。また、部会

所属委員の紹介、今後の総会開催スケジュールについて決議したと報告された。

14. 支払基金幹事会〔10/14(水)〕について

(支払基金主催：支払基金)

伊藤副会長より、特に重要なテーマはなかったが、審査の状況については、全国と比較し、愛知県は縦覧点検分の点数が非常に高いが、科別等ターゲットを決めて点検すると点数が高くなるという話があった。再審査については査定割合が下がっていると説明された。

15. 第63回愛知県学校保健研究大会〔10/14(水)〕について

(愛知県教育委員会・愛知県学校保健会主催：中電ホール)

伊藤副会長より、長年の功績のあった学校医、学校歯科医、学校薬剤師、健康推進学校等の表彰を行ったと説明された。

16. 愛難連第43回定期大会〔10/12(月・祝)〕について

(愛知県難病団体連合会主催：ウインクあいち)

加藤理事より、柵木会長の代理として出席し、挨拶を代読されたと報告された。名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター医療ソーシャルワーカー 粕田剛資氏より、「難病患者さんが受けられる公共サービス」というテーマでの講演があり、難病患者・家族を始め、129名の参加があったと報告された。また、難病患者は日により症状にバラツキがあるので、障害者手帳の発行が難しいことが問題であると説明された。

17. 准看護師試験委員会議〔10/19(月)〕について

(愛知県主催：愛知県西庁舎)

大輪理事より、本文題150題、予備問題20題の検討を行ったと報告された。今回、愛知県は60題担当し、愛知県の出題問題については問題なかったと報告された。

18. 第2回愛知県周産期医療協議会〔10/16(金)〕について

(愛知県周産期医療協議会主催：名古屋第一赤十字病院)

伊藤(富)理事より、協議事項(1)から(5)の報告後、総合周産期母子医療センターのGCU病床数についての対応方針が提案され、NICUを下回らないことで承認されたと報告された。また、刈谷豊田総合病院を13番目の地域周産期母子医療センターとして承認したと説明された。周産期医療体制の在り方に関する検討会では、周産期医療に係る実態調査の結果、東三河の母体搬送、新生児搬送については、県外(浜松市)に搬送される症例があり、県内で受け入れるよう、システムを見直す必要があると説明された。愛知県小児重症患者相談システムについては、平成28年2月より立ち上げ、パイロット運用を開始する予定であると報告された。

【病診連携・地域医療支援病院関係会議について】

19. 名古屋市立大学病院病診連携システム運営協議会〔10/14(水)〕について

(名古屋市立大学病院主催：

名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟4階 第1会議室)

森理事より、地域医療連携の取り組みについて、形成外科開設について、「病診連携システム運営協議会規程」の改正について資料に沿って説明された。平成28年1月4日より予定されている登録医制度の新設の検討、申込みについて等説明された。

【その他事項について】

20. 臓器移植対策推進功労者に対する厚生労働大臣感謝状贈呈対象者について

市川理事より、個人では、名古屋市昭和区医師会の、渡井至彦先生、団体では、名古屋大学医学部附属病院が受賞され、表彰式は、10月18日(日)13:30~16:30、大分県：iichiko 総合文化センターで開催されると説明された。

21. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成27年10月22日